2020年5月20日

国立国会図書館より頂いたご回答について

「図書館休館対策プロジェクト」

発起人 前田麦穂

(独立行政法人日本学術振興会特別研究員 PD)

本プロジェクトの「大学図書館等の閉館を維持したままで可能な緊急支援施策に関する要望書（第1次）」(2020年5月7日発送・公表)につきまして、国立国会図書館より以下の通りご回答を頂きました(太字・下線は引用者による)。

あわせて「(参考) 図書館協力ニュース 290号(2020年5月18日発行)」もご覧ください。

本プロジェクトは、下記で頂戴したご回答を踏まえ、今後の要望書提出・情報発信等の活動に取り組んで参ります。

今後とも、本プロジェクトへのご支援の程よろしくお願い申し上げます。

-----以下、ご回答-----

先日、当館館長宛にお送りいただいた「第1次要望書」を拝受いたしました。

当館といたしましても、当館を含めた各図書館のサービス等が利用できないことによる、皆様の置かれた困難な状況を重く受け止め、真摯に対応してまいりたいと考えております。

既に御存知かもしれませんが、緊急的な臨時措置として一昨日より、図書館向けデジタル化資料送信サービスの対象となっているデジタル化資料(図書・雑誌)を、当館が一冊全てプリントアウトして提供することにより、当該図書館の蔵書として御利用いただけるようにいたしました(詳細は添付の『図書館協力ニュース』290号を御参照ください。)

本日より再開しております遠隔複写サービスとあわせて、ご活用いただけますと幸いです。

また、御要望いただいた図書館向けデジタル化資料送信サービスについては、著作権法の改正なしに、著作権者の許諾がない資料の送信先範囲を拡大することはできませんが、サービスの更なる改善に向けて、関係諸機関と協議・調整を行ってまいります。

今後ともどうぞよろしく願いいたします。